

令和2年6月12日

岐阜県で新生児マススクリーニングを受けられて、使用済みろ紙血の新たな新生児マススクリーニング研究開発への使用の同意をいただいた方へ

「新生児マススクリーニングの使用済みろ紙血およびムコ多糖症患者検体を用いた酵素活性や GAG 測定によるムコ多糖症の新生児スクリーニング法開発に関する研究」への協力 のお願い

研究期間： 倫理委員会承認日～2023年3月31日

岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学教室では、岐阜県で新生児マススクリーニングを受けられて、使用済みろ紙血の新たな新生児マススクリーニング研究開発への使用の同意をいただいた検体を、島根大学小児科の小林弘典先生、山口清次先生およびアメリカ Alfred I. duPont Hospital for Children の戸松俊治博士との共同研究で上記のような研究を行います。そのため血液ろ紙を個人が特定できない形でアメリカにも送付して解析を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究目的：新たな新生児マススクリーニングの対象としてムコ多糖症のスクリーニング法を確立する。

研究内容：血液ろ紙中のグリコサミノグリカンのタンデムマスを用いた定量および酵素活性の測定法の確立。

対象 26年4月～29年5月に岐阜県において新生児マススクリーニングを受けられたお子さんで、使用済み血液ろ紙の新たな新生児マススクリーニング研究開発への使用をご承諾いただいた方

研究への参加辞退をご希望の場合

この研究に関して新たに皆様に行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。この研究では既に使用済みでご承諾の得られたろ紙血を使用させていただきます。お子さんさんの個人のお名前や、個人を特定できる情報は一切公表いたしません。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。今後協力の中止を希望される方はご連絡ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。
この研究に関して不明な点がある場合は、以下にご連絡ください。

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科 小児病態学
電話番号 058-230-6386
研究責任者：大西秀典